

歴史の町並みに統一感 「のれん看板」を掲示

平泉商工会(千葉庄悦会長)では、中尊寺通りと毛越寺通りの商店や事業所で、そろいの「のれん看板」を掲げ始めました。商店街の景観や町並みに統一感を持たせ、町民はもとより世界遺産平泉を訪れる観光客の回遊性を高めることを目的に取り組んでいます。

のれん看板参加事業所は25店舗で、各事業内容をイメージしたイラストなどが施され、各事業所や店舗を訪れた人たちの目を楽しませています。



介護予防のため筋力アップ いきいき百歳体操を体験

11月11日、高知市高齢者支援課の理学療法士小川佐知さんを講師に、「いきいき百歳体操」の講演会と体験会を開催しました。講演会には、モデル地区として体操を普及させる12区と21区の60～80代の町民や介護予防事業関係者らが参加。

町では、筋力を維持していくことが健康に長生きすることにつながるとして、町民の介護予防を目的にした筋力アップのための体操「平泉いきいき百歳体操」を町内各地へ普及することを目指しています。



魅力ある商店街づくりへ 「中尊寺通りホコ天まつり」開催

「中尊寺通りホコ天まつり」(平泉商工会主催)が11月21日、中尊寺通りを会場に開催されました。このイベントはJR平泉駅前から高館踏切前までの約130m区間を歩行者天国にして、「清衡公の想いをつたえよう」をテーマに、今回初めて企画されました。

テント出店のほか、ステージでは太鼓や楽器演奏などが行われ、豚汁やさんま焼きなどの無料サービスもあり、中尊寺通りは詰め掛けた大勢の来場者でにぎわいました。



地域社会福祉の推進に貢献 県社会福祉大会長表彰を受賞

民生委員・児童委員として15年以上在職されている千葉榮男さん(11区)、町社会福祉協議会職員として30年在職されている千葉若枝さん(13区)が社会福祉事業功労者として県社会福祉大会長表彰を受賞されました。

千葉榮男さんは「皆さまのご支援やご指導があったからこそこの受賞でありうれしいです」、千葉若枝さんは「今まで以上に質の高いサービスの提供を実現できるようにスキルアップに向け邁進していきます」と話していました。

地域の教育振興運動に貢献 日本PTA全国協議会会長表彰受賞

前長島小学校PTA会長の佐藤郁夫さん(16区)が平成27年度日本PTA全国協議会会長表彰を受賞しました。

11月24日、町役場を訪れ岩淵教育長へ受賞の報告をしました。

佐藤さんは、26年度に長島小学校PTA会長の務めながら町PTA連合会長および一関地方PTA連合会会長、県PTA連合会副会長の役職を兼任し、それぞれの団体の主体的な活動を推進し、教育振興運動に貢献されました。



交通死亡事故2年間ゼロ 賞賛状伝達式

11月19日、交通死亡事故ゼロ2年間継続の賞賛状が、県警本部長より伝達され、一関警察署長より齋藤副町長に手渡されました。賞賛状伝達式には町交通安全団体の代表者ら14人が出席。

齋藤副町長は「交通事故を防ぐためには交通安全関係者の活動だけでなく、交通安全に対する町民の意識と心構えが必要。これからも官民一体となって頑張りたい」と取り組みの継続を誓いました。



地域福祉の推進に尽力 社会福祉功労者厚生大臣表彰受賞

町内で慶泉荘をはじめとする老人福祉施設を運営する社会福祉法人稲泉会の理事長である東海林安子さん(7区)が平成27年度社会福祉功労者厚生大臣表彰を受賞されました。

この賞は、多年にわたり地域福祉の推進に尽力し、その功績が特に顕著と認められる個人や団体に贈られるもので、東海林さんは稲泉会の代表として平成元年の社会福祉法人設立以来町内でさまざまな施設や事業の運営を行ってきました。



協会創立30周年を祝う 町芸術文化協会

11月19日、ホテル武蔵坊を会場に町芸術文化協会創立30周年記念祝賀会が開催されました。

町芸術文化協会は、町における芸術文化の振興発展を図るとともに、芸術文化関係団体の親睦を図ることを目的として、昭和60年4月に設立されました。

同協会浅利和昭会長は「『歴史と文化の町』のキャッチフレーズにふさわしい活動を続け、今後も芸術文化の発展と育成に力を入れていきたい」と決意を新たにしていました。